



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社  
 コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,125,883	△0.2	50,705	△34.1	54,582	△35.9	34,546	△41.9	32,542	△44.2	95,966	△32.5
2022年12月期第3四半期	1,127,710	10.5	76,917	△29.4	85,095	△25.0	59,470	△28.7	58,320	△28.9	142,128	27.7

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2023年12月期第3四半期	70	01	70	00
2022年12月期第3四半期	123	82	123	82

（注）2023年12月期第3四半期の構造改革に係る費用を除いたコア利益は、以下のとおりです。

コア営業利益	70,768百万円	△8.0%
コア税引前四半期利益	74,645百万円	△12.3%
コア四半期利益	52,217百万円	△12.2%
親会社の所有者に帰属するコア四半期利益	50,213百万円	△13.9%
基本的1株当たりコア四半期利益	108.02円	

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	1,750,621	1,023,592	994,406	56.8	2,139.14		
2022年12月期	1,726,350	995,384	972,061	56.3	2,091.20		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	74.00	—	74.00	148.00
2023年12月期	—	75.00	—		
2023年12月期（予想）				75.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,580,000	1.9	60,000	△45.5	61,000	△47.3	41,000	△52.3	88.20

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2023年12月期通期の構造改革に係る費用を除いたコア利益は、以下のとおりです。

コア営業利益	120,000百万円	9.0%
コア税引前利益	121,000百万円	4.4%
親会社の所有者に帰属するコア当期利益	88,000百万円	2.3%
基本的1株当たりコア当期利益	189.30円	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	465,900,000株	2022年12月期	465,900,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	1,037,153株	2022年12月期	1,065,960株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	464,850,282株	2022年12月期3Q	470,995,349株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する概要 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(7) 継続企業の前提に関する注記 .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する概要

注：以下、( )付きの数値はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。また、数量等には製品構成差を含んでいます。

当社は、2023年8月3日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、構造改革に取り組んでいます。従って、業績の評価及び、将来の予測に有用な情報を提供するため、非定常的な要因により一時的に発生した損益（事業撤退・縮小や資産の除売却から生じる損益等）を除いた利益を「コア利益」として表示します。なお、下記表内の2023年12月期第3四半期累計期間と増減率の営業利益以下の下段数値は、「コア利益」に基づいて算出しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2023年12月期 第3四半期累計期間	11,259	507 708	4.5 6.3	546 746	345 522	325 502	70.01 108.02
2022年12月期 第3四半期累計期間	11,277	769	6.8	851	595	583	123.82
増減率	(0.2)% 実質(2.9)%	(34.1)% (8.0)%	— —	(35.9)% (12.3)%	(41.9)% (12.2)%	(44.2)% (13.9)%	(43.5)% (12.8)%

世界は新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻って来ていますが、成長市場であった中国市場の減速、欧州、中東の地政学リスクやインフレによるコストの高止まりの状況は続いており、経営環境は不透明な状況が続きました。

当社グループの主要市場である日本のコンシューマプロダクツ（トイレットリー及び化粧品）市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2023年1月から9月において前年同期を上回りました。

売上高は、前年同期に対して0.2%減の1兆1,259億円（為替2.7%増、実質2.9%減（内訳：数量等2.2%減、価格0.7%減））となりました。営業利益は、構造改革費用を201億円計上したことにより、507億円（対前年同期262億円減）となり、コア営業利益は、計画を上回る708億円（対前年同期61億円減）となりました。税引前四半期利益は546億円（対前年同期305億円減）となりました。四半期利益は345億円（対前年同期249億円減）となりました。コンシューマプロダクツ事業は計画を上回りましたが、ケミカル事業は欧米市場の需要回復が遅れている影響等を受け計画を下回りました。

当第3四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月	第2四半期 4-6月	第3四半期 7-9月
米ドル	132.29円[ 116.30円]	137.30円[ 129.69円]	144.49円[ 138.27円]
ユーロ	141.98円[ 130.45円]	149.50円[ 138.14円]	157.23円[ 139.25円]
中国元	19.33円[ 18.32円]	19.58円[ 19.63円]	19.94円[ 20.20円]

注：[ ]内は前年同期の換算レート

## 〔セグメント別の概況〕

## セグメントの業績

	売上高				営業利益（上段） コア営業利益（下段）				増減 (億円)
	第3四半期累計期間		増減率		第3四半期累計期間				
	2022年 12月期 (億円)	2023年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2022年12月期 (億円)	2023年12月期 利益率 (%)	2023年12月期 (億円)	2023年12月期 利益率 (%)	
ハイジーン&リビングケア事業	3,707	3,792	2.3	1.1	189	5.1	52 239	1.4 6.3	(137) 49
ヘルス&ビューティケア事業	2,708	2,885	6.5	3.1	272	10.1	303 306	10.5 10.6	31 33
ライフケア事業	403	408	1.2	(0.5)	0	0.1	(12) (12)	(3.1) (3.1)	(13) (13)
化粧品事業	1,755	1,751	(0.2)	(1.7)	34	1.9	(28) (16)	(1.6) (0.9)	(62) (50)
コンシューマプロダクツ事業	8,573	8,835	3.1	1.1	496	5.8	315 516	3.6 5.8	(181) 20
ケミカル事業	3,038	2,750	(9.5)	(14.0)	268	8.8	185 185	6.7 6.7	(83) (83)
小計	11,611	11,585	(0.2)	(2.9)	764	—	500 700	— —	(265) (64)
セグメント間消去又は調整	(333)	(326)	—	—	5	—	7 7	— —	2 2
合計	11,277	11,259	(0.2)	(2.9)	769	6.8	507 708	4.5 6.3	(262) (61)

## 販売実績

(億円、増減率%)

第3四半期累計期間		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2022年	2,080	330	27	—	2,437
	2023年	2,118	337	29	—	2,484
	増減率	1.8	2.2	7.5	—	2.0
	実質	1.8	(3.3)	5.2	—	1.2
サニタリー製品	2022年	552	718	1	—	1,270
	2023年	606	701	0	—	1,307
	増減率	9.7	(2.3)	(45.6)	—	2.9
	実質	9.7	(5.8)	(46.1)	—	0.9
ハイジーン&リビングケア事業	2022年	2,632	1,048	28	—	3,707
	2023年	2,724	1,038	29	—	3,792
	増減率	3.5	(0.9)	6.5	—	2.3
	実質	3.5	(5.1)	4.2	—	1.1
ヘルス&ビューティケア事業	2022年	1,457	254	670	327	2,708
	2023年	1,511	262	736	376	2,885
	増減率	3.7	3.2	9.8	15.0	6.5
	実質	3.7	(1.2)	2.4	5.5	3.1
ライフケア事業	2022年	315	0	86	1	403
	2023年	304	1	102	1	408
	増減率	(3.5)	86.4	18.5	(15.5)	1.2
	実質	(3.5)	83.2	10.5	(21.0)	(0.5)
化粧品事業	2022年	1,096	457	47	155	1,755
	2023年	1,127	400	52	171	1,751
	増減率	2.9	(12.5)	9.9	10.6	(0.2)
	実質	2.9	(14.1)	2.2	1.6	(1.7)
コンシューマープロダクツ事業	2022年	5,499	1,759	831	483	8,573
	2023年	5,666	1,701	919	549	8,835
	増減率	3.0	(3.3)	10.6	13.6	3.1
	実質	3.0	(6.8)	3.3	4.2	1.1
ケミカル事業	2022年	1,037	749	539	713	3,038
	2023年	988	660	461	640	2,750
	増減率	(4.7)	(11.9)	(14.4)	(10.2)	(9.5)
	実質	(4.7)	(16.2)	(23.4)	(18.3)	(14.0)
セグメント間売上高の消去	2022年	(286)	(30)	(1)	(16)	(333)
	2023年	(287)	(24)	(1)	(15)	(326)
売上高	2022年	6,250	2,478	1,369	1,179	11,277
	2023年	6,367	2,338	1,380	1,174	11,259
	増減率	1.9	(5.7)	0.8	(0.4)	(0.2)
	実質	1.9	(9.4)	(7.2)	(9.1)	(2.9)

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

## 売上高 対前年同期比分析

	増減率 (%)	為替 (%)	実質 (%)		
				数量等 (%)	価格 (%)
ハイジーン&リビングケア事業	2.3	1.2	1.1	(3.5)	4.6
ヘルス&ビューティケア事業	6.5	3.4	3.1	0.9	2.2
ライフケア事業	1.2	1.7	(0.5)	(1.8)	1.3
化粧品事業	(0.2)	1.4	(1.7)	(1.2)	(0.5)
コンシューマープロダクツ事業	3.1	2.0	1.1	(1.5)	2.6
ケミカル事業	(9.5)	4.6	(14.0)	(4.0)	(10.0)
合計	(0.2)	2.7	(2.9)	(2.2)	(0.7)

注：ケミカル事業の売上高は、セグメント間取引を含んでいます。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の46.5%から45.1%となりました。

## コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して3.1%増の8,835億円（為替2.0%増、実質1.1%増（内訳：数量等1.5%減、価格2.6%増））となりました。

世界の市場は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い着実に回復していますが、これまで成長をけん引してきた中国市場は減速しました。また、原材料価格は落ち着きを見せていますが、石化原料等は、中東の地政学リスク等の影響で再び上昇のリスクもあります。このような中、日本を中心に計画通り戦略的値上げの実施、新製品・改良品への投資を進め、その成果が出てきました。

日本の売上高は、前年同期に対して3.0%増の5,666億円となりました。

アジアでは、売上高は3.3%減の1,701億円（実質6.8%減）となりました。

米州の売上高は、10.6%増の919億円（実質3.3%増）となり、欧州の売上高は、13.6%増の549億円（実質4.2%増）となりました。

営業利益は、減損損失を含む構造改革費用201億円の計上の影響等により、315億円（対前年同期181億円減）となりました。コア営業利益は、戦略的値上げの実施により原材料価格の上昇を吸収したこと等により、516億円（対前年同期20億円増）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

### 【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し2.3%増の3,792億円（為替1.2%増、実質1.1%増（内訳：数量等3.5%減、価格4.6%増））となりました。

ファブリックケア製品は、売り上げは前年同期に比べて増加しました。衣料用洗剤で戦略的値上げの実施と新製品・改良品の発売が大きく貢献し、売り上げ、シェアを大きく伸ばしました。柔軟仕上げ剤は、回復の兆しが見えてきました。

ホームケア製品の売り上げは、ほぼ前年同期並みでした。食器用洗剤「キュキュット」は、日本では値上げを実施するとともに改良を実施し売り上げ、シェアを伸ばしました。

サニタリー製品は、前年同期を上回りました。生理用品「ロリエ」は、日本では共感型コミュニケーションによりロイヤルユーザーが増加すること等で前年同期を上回りましたが、中国では販促活動を抑制することになり影響を受けました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、売り上げは前年同期を下回りました。日本、インドネシアでは順調に推移しましたが、中国では市場縮小や厳しい競争環境により売り上げは前年同期を下回りました。

営業利益は、ベビー用紙おむつ事業で減損損失を含む構造改革費用を187億円計上し、52億円（対前年同期137億円減）となりました。コア営業利益は、ファブリック&ホームケア製品で、原材料価格の上昇に対して戦略的値上げを積極的に実施し、利益率は改善してきており239億円（対前年同期49億円増）となりました。

### 【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して6.5%増の2,885億円（為替3.4%増、実質3.1%増（内訳：数量等0.9%増、価格2.2%増））となりました。

スキンケア製品は、売り上げは前年同期を上回りました。日本では、「ビオレ」のUVケア製品等のシーズン品やメイク落としの新製品が貢献し、売り上げは市場伸長を上回るとともにシェアも上昇しました。欧米でも、今年度に販売を開始したUVケア製品が計画を上回りました。

ヘアケア製品は、売り上げは前年同期を上回りました。日本では厳しい競争環境の中、「エッセンシャル」の新製品・改良品が順調に推移しました。ヘアサロン向け製品は、米国の「ORIBE」がEコマースを中心に堅調に推移しました。

パーソナルヘルス製品は、売り上げは前年同期を上回りました。新しいマーケティング施策により「めぐりズム」の売り上げは伸長しました。入浴剤は市場が縮小する中、シェアを伸ばしました。

営業利益は、303億円（対前年同期31億円増）となりました。コア営業利益は、306億円（対前年同期33億円増）となりました。

### 【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して1.2%増の408億円（為替1.7%増、実質0.5%減（内訳：数量等1.8%減、価格1.3%増））となりました。

業務用衛生製品は、売り上げは前年同期を上回りました。日本では、外食産業や宿泊施設等に向けた製品の需要が高まりましたが、消毒剤の市場縮小により売り上げは減少しました。米国では対象業界が伸長し、売り上げは伸長しました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」の売り上げが減少しました。

営業利益は、12億円（対前年同期13億円減）の損失となりました。

**【化粧品事業】**

売上高は、前年同期に対して0.2%減の1,751億円（為替1.4%増、実質1.7%減（内訳：数量等1.2%減、価格0.5%減））となりました。

日本では市場が回復してきた中、「KANEBO」や「KATE」等のグローバル戦略ブランド「G11」が前年同期に対して二桁伸長を継続し好調を維持しましたが、韓国のトラベルリテールにおいて代理購買抑制の影響を受けました。また、中国では、KOL（キー・オピニオン・リーダー）の活動自粛や販売促進活動の抑制等により前年同期を下回りました。欧州では、インフレにより消費が冷え込む中、「MOLTON BROWN」の新製品が順調に推移し、売り上げは前年同期を上回りました。

営業利益は、構造改革費用を12億円計上したことにより28億円（対前年同期62億円減）の損失となりました。コア営業利益は、16億円（対前年同期50億円減）の損失となりました。

**ケミカル事業**

売上高は、前年同期に対して9.5%減の2,750億円（為替4.6%増、実質14.0%減（内訳：数量等4.0%減、価格10.0%減））となりました。

油脂製品では、天然油脂価格の下落に伴う販売価格の改定と海外における顧客の在庫調整の継続が影響し、売り上げは減少しました。

機能材料製品は、コスト増に対する販売価格の改定は寄与していますが、需要の低迷の影響を受けている分野があり、売り上げは前年同期を下回りました。

情報材料製品では、ハードディスクや半導体関連分野の需要の低迷が続いており、売り上げは減少しました。

営業利益は、景気回復の遅れに伴う需要の減少と油脂製品の利幅縮小の影響が続いており、185億円（対前年同期83億円減）となりました。

**(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

現時点では、中国での化粧品市場回復の遅れやケミカル事業での欧州を中心とした需要減等のリスクがあります。このような中、好調な日本のトイレタリー市場で、戦略的値上げを積極的に実施するとともに、高付加価値商品の比率アップ及び戦略ブランドへの集中投資を進めます。さらに構造改革を着実に実行していきます。そして、効果的に資本を投下することでEVA（経済的付加価値）を拡大しながら公表数値の達成を目指していきます。従いまして、2023年8月3日に公表した連結業績予想は変更ありません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、140円/米ドル、151円/ユーロ、20円/中国元です。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	268,248	283,362	15,114
営業債権及びその他の債権	230,604	228,227	(2,377)
棚卸資産	278,382	283,588	5,206
その他の金融資産	3,605	5,346	1,741
未収法人所得税	4,171	6,652	2,481
その他の流動資産	22,196	23,973	1,777
流動資産合計	807,206	831,148	23,942
非流動資産			
有形固定資産	439,325	431,435	(7,890)
使用権資産	138,629	129,826	(8,803)
のれん	191,860	201,247	9,387
無形資産	60,183	63,551	3,368
持分法で会計処理されている投資	11,061	11,619	558
その他の金融資産	25,325	27,096	1,771
繰延税金資産	43,833	43,596	(237)
その他の非流動資産	8,928	11,103	2,175
非流動資産合計	919,144	919,473	329
資産合計	1,726,350	1,750,621	24,271



	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	243,767	227,503	(16,264)
社債及び借入金	65,670	13,735	(51,935)
リース負債	19,440	19,217	(223)
その他の金融負債	7,249	3,822	(3,427)
未払法人所得税等	12,299	15,529	3,230
引当金	1,246	639	(607)
契約負債等	32,465	39,223	6,758
その他の流動負債	104,488	106,811	2,323
流動負債合計	486,624	426,479	(60,145)
非流動負債			
社債及び借入金	62,166	127,977	65,811
リース負債	115,614	106,886	(8,728)
その他の金融負債	7,223	7,037	(186)
退職給付に係る負債	38,738	37,171	(1,567)
引当金	8,803	9,065	262
繰延税金負債	6,858	7,291	433
その他の非流動負債	4,940	5,123	183
非流動負債合計	244,342	300,550	56,208
負債合計	730,966	727,029	(3,937)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	105,880	105,821	(59)
自己株式	(3,459)	(3,262)	197
その他の資本の構成要素	43,842	102,728	58,886
利益剰余金	740,374	703,695	(36,679)
親会社の所有者に帰属する持分合計	972,061	994,406	22,345
非支配持分	23,323	29,186	5,863
資本合計	995,384	1,023,592	28,208
負債及び資本合計	1,726,350	1,750,621	24,271

## (2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第3四半期	当第3四半期	増減
		連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	1,127,710	1,125,883	(1,827)
売上原価		(726,345)	(718,002)	8,343
売上総利益		401,365	407,881	6,516
販売費及び一般管理費	2	(327,149)	(340,690)	(13,541)
その他の営業収益		12,637	14,137	1,500
その他の営業費用		(9,936)	(30,623)	(20,687)
営業利益	1	76,917	50,705	(26,212)
金融収益		8,474	4,380	(4,094)
金融費用		(1,807)	(2,521)	(714)
持分法による投資利益		1,511	2,018	507
税引前四半期利益		85,095	54,582	(30,513)
法人所得税		(25,625)	(20,036)	5,589
四半期利益		59,470	34,546	(24,924)
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		58,320	32,542	(25,778)
非支配持分		1,150	2,004	854
四半期利益		59,470	34,546	(24,924)
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		123.82	70.01	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		123.82	70.00	

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	59,470	34,546	(24,924)
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	179	719	540
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(187)	275	462
純損益に振り替えられることのない項目合計	(8)	994	1,002
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	81,573	59,805	(21,768)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	1,093	621	(472)
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	82,666	60,426	(22,240)
税引後その他の包括利益	82,658	61,420	(21,238)
四半期包括利益	142,128	95,966	(46,162)
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	137,988	91,503	(46,485)
非支配持分	4,140	4,463	323
四半期包括利益	142,128	95,966	(46,162)

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2022年1月1日残高	85,424	105,633	(3,960)	175	(9,678)	(0)	5,780
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	79,667	9	(8)
四半期包括利益	—	—	—	—	79,667	9	(8)
自己株式の処分	—	(120)	50,505	(86)	—	—	—
自己株式の取得	—	(25)	(50,006)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	288	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	7	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(28)	—	—	(516)
所有者との取引等合計	—	150	499	(114)	—	—	(516)
2022年9月30日残高	85,424	105,783	(3,461)	61	69,989	9	5,256

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2022年1月1日残高	(3,723)	781,763	965,137	18,740	983,877
四半期利益	—	58,320	58,320	1,150	59,470
その他の包括利益	79,668	—	79,668	2,990	82,658
四半期包括利益	79,668	58,320	137,988	4,140	142,128
自己株式の処分	(86)	(50,298)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(50,031)	—	(50,031)
株式に基づく報酬取引	—	—	288	—	288
配当金	—	(68,864)	(68,864)	(414)	(69,278)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	7	2,138	2,145
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(544)	544	—	—	—
所有者との取引等合計	(630)	(118,618)	(118,599)	1,724	(116,875)
2022年9月30日残高	75,315	721,465	984,526	24,604	1,009,130

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2023年1月1日残高	85,424	105,880	(3,459)	57	38,322	7	5,456
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	57,965	2	994
四半期包括利益	—	—	—	—	57,965	2	994
自己株式の処分	—	(177)	210	(28)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(13)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	241	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	(123)	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(29)	—	—	(18)
所有者との取引等合計	—	(59)	197	(57)	—	—	(18)
2023年9月30日残高	85,424	105,821	(3,262)	—	96,287	9	6,432

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2023年1月1日残高	43,842	740,374	972,061	23,323	995,384
四半期利益	—	32,542	32,542	2,004	34,546
その他の包括利益	58,961	—	58,961	2,459	61,420
四半期包括利益	58,961	32,542	91,503	4,463	95,966
自己株式の処分	(28)	(4)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(13)	—	(13)
株式に基づく報酬取引	—	—	241	—	241
配当金	—	(69,264)	(69,264)	(958)	(70,222)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	(123)	2,358	2,235
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(47)	47	—	—	—
所有者との取引等合計	(75)	(69,221)	(69,158)	1,400	(67,758)
2023年9月30日残高	102,728	703,695	994,406	29,186	1,023,592

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	85,095	54,582
減価償却費及び償却費	66,871	67,008
減損損失	—	18,391
受取利息及び受取配当金	(1,367)	(2,348)
支払利息	1,420	1,836
持分法による投資損益(益)	(1,511)	(2,018)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	2,110	3,299
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	22,716	20,418
棚卸資産の増減額(増加)	(48,803)	10,991
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(4,746)	(28,282)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(2,392)	(3,081)
その他	(12,967)	(4,718)
小計	106,426	136,078
利息の受取額	1,229	2,246
配当金の受取額	2,468	2,288
利息の支払額	(1,410)	(1,539)
法人所得税等の支払額	(35,559)	(18,809)
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,154	120,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(4,964)	(4,139)
定期預金の払戻による収入	6,310	2,917
有形固定資産の取得による支出	(51,770)	(41,614)
無形資産の取得による支出	(7,512)	(8,416)
その他	(790)	679
投資活動によるキャッシュ・フロー	(58,726)	(50,573)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(207)	12,523
長期借入による収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	(3,685)	(40,013)
社債の発行による収入	—	24,937
社債の償還による支出	(12)	(24,952)
リース負債の返済による支出	(16,296)	(16,065)
自己株式の取得による支出	(50,031)	(13)
支払配当金	(68,151)	(68,524)
非支配持分への支払配当金	(419)	(962)
その他	2,050	2,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	(136,751)	(70,854)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(122,323)	(1,163)
現金及び現金同等物の期首残高	336,069	268,248
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	26,232	16,277
現金及び現金同等物の四半期末残高	239,978	283,362

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	オレオケミカル、油脂誘導体、界面活性剤、香料	
	機能材料製品	コンクリート用減水剤、鋳物砂用バインダー、プラスチック用添加剤、各種産業用薬剤	
	情報材料製品	トナー、トナーバインダー、インクジェット用色材、インク、ハードディスク研磨液・洗浄剤、半導体製造用薬剤・材料	

## (2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	370,684	270,788	40,274	175,505	857,251	270,459	1,127,710	—	1,127,710
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	33,342	33,342	(33,342)	—
売上高合計	<u>370,684</u>	<u>270,788</u>	<u>40,274</u>	<u>175,505</u>	<u>857,251</u>	<u>303,801</u>	<u>1,161,052</u>	<u>(33,342)</u>	<u>1,127,710</u>
営業利益（又は損失）	<u>18,948</u>	<u>27,248</u>	<u>24</u>	<u>3,417</u>	<u>49,637</u>	<u>26,795</u>	<u>76,432</u>	<u>485</u>	<u>76,917</u>
金融収益									8,474
金融費用									(1,807)
持分法による投資利益									1,511
税引前四半期利益									<u>85,095</u>

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額485百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	379,156	288,482	40,776	175,080	883,494	242,389	1,125,883	—	1,125,883
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	32,569	32,569	(32,569)	—
売上高合計	379,156	288,482	40,776	175,080	883,494	274,958	1,158,452	(32,569)	1,125,883
営業利益 (又は損失)	5,214	30,324	(1,246)	(2,768)	31,524	18,454	49,978	727	50,705
金融収益									4,380
金融費用									(2,521)
持分法による投資利益									2,018
税引前四半期利益									54,582
コア営業利益(又は損失) (注3)	23,888	30,562	(1,246)	(1,617)	51,587	18,454	70,041	727	70,768

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額727百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

(注3) コア営業利益 (又は損失) は、構造改革に係る費用を除いております。

営業利益 (又は損失) からコア営業利益 (又は損失) への調整は、以下のとおりです。

下表の要約四半期連結財務諸表計上額には、構造改革費用が発生していない報告セグメントの営業利益 (又は損失) 及びコア営業利益 (又は損失) を合算して表示しております。

	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	化粧品 事業	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	百万円	百万円	百万円	百万円
営業利益 (又は損失)	5,214	30,324	(2,768)	50,705
構造改革費用				
売上原価	194	—	1,151	1,345
減損損失	18,275	—	—	18,275
その他	205	238	—	443
コア営業利益(又は損失)	23,888	30,562	(1,617)	70,768



## 2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	56,760	54,543
販売促進費	32,410	36,377
従業員給付費用	120,072	126,411
減価償却費	13,006	12,678
償却費	6,657	7,527
研究開発費	45,158	46,538
その他	53,086	56,616
合計	327,149	340,690

## (7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。